

## 平成 27 年度 事 業 報 告

公益法人移行後、4年目を迎え、公益目的事業の積極的な推進、効率的な法人運営等に努め、効果的でより充実した事業の展開並びに組織運営に全力で取り組んだ。

### 事 業 活 動

公1 食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食鳥処理場において食鳥検査、細菌検査及び検査員に対する研修会等を行うことにより、流通する食鳥肉の安全を確保する事業

(1) 食鳥検査事業

岡崎市に食鳥検査センターを設置するとともに、県内6か所の食鳥処理場に対して、会員である獣医師の検査員を派遣して食鳥検査を行っている。

<27年度 実績>

(ア) 検査員の派遣実績 (6 処理場合計)      延べ 1,597 日      延べ 検査員数 3,444 人

(イ) 食鳥検査羽数の実績      14,731,106 羽

(ウ) 検査結果 (処分の状況 6 処理場合計)

とさつ又は解体の禁止	全部廃棄	一部廃棄	合 計
74,599 (0.51%)	82,757 (0.56%)	216,319 (1.47%)	373,675 (2.54%)

(2) 食鳥肉等の細菌検査事業

食鳥肉の衛生水準の向上を図るとともに、検査センターの人材と検査機材の有効活用を図るため、委託元である県、市に提言し、委託元の理解を得て行っている事業で、処理された食鳥肉及び機械器具等の検査を計画的に反復実施し、その結果を基に独自事業として食鳥処理場における衛生管理の改善に向けて助言、指導している。

<27年度 実績>

(ア) 食鳥検査センター検査室における検査実績

検査項目：生菌数、大腸菌群数、黄色ブドウ球菌数、サルモネラ属菌及びカンピロバクターの5項目  
(各処理場で処理された鶏肉を対象に原則 11 回/年)

検査件数：126      延べ検査項目数：630

(イ) 各処理場内検査室における検査実績

検査項目：大腸菌群数、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌の3項目

検査件数：360      延べ検査項目数：1,080

(3) 検査員研修会

定期的に検査員連絡会議や研修会を開催し、検査技術の平準化や向上を図るとともに、厚生労働省の開催する食鳥肉衛生技術研修会等に参加させ、伝達講習を行い技術の研鑽に努めている。

なお、食鳥検査業務に有用な研修についてセンターの予算の範囲で参加させている。

<27年度 実績>

年月日	講 演 内 容	講 師
27.4.12	食鳥処理場への HACCP の導入について 平成 26 年度食鳥肉衛生技術研修会・研究発表会に係る報告	保健医療局生活衛生課 伊藤 弘人 主査 小久保道正 検査員・小林 一雄 検査員
27.9.13	農場における鶏疾病の傾向について	中央家畜保健衛生所 杉江 典映 課長補佐
27.11.15	最近の養鶏の衛生対策に関する話題	鶏病研究会 内田 幸治 専門委員

公2 獣医学術、獣医療の専門識・技能の普及並びに人材育成を図る事業

(1) 学術事業

獣医療の各分野にわたって、学会・講習会・研修会等を開催（行政または関係団体との共催を含む。）し、

獣医師の専門知識・技能の普及並びに資質の向上を図る事業。

<27年度 実績>

\*第1回 臨床部会小動物学術セミナー

日 時：平成27年6月28日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1202号室

演 題：基礎から見直す 臨床腫瘍学シリーズ

講 師：細谷 謙次 先生 (北海道大学 准教授)

参加人数：会員57名、非会員28名 合計85名

\*第2回 臨床部会小動物学術セミナー

日 時：平成27年11月29日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1104室

演 題：比較的よく遭遇する皮膚病をおさらいしよう：脱毛症・外耳炎・猫の皮膚病

講 師：西藤 公司 先生 (東京農工大学 准教授)

参加人数：会員53名、非会員10名 合計63名

\*第1回 畜産部会学術セミナー

日 時：平成27年12月6日

会 場：キャッスルプラザ 4F 菊の間

演 題：ミツバチの健康を考える～現状と課題

講 師：中村 純 先生 (玉川大学ミツバチ科学研究センター 教授)

協 賛：愛知県養蜂協会

参加人数：会員23名、非会員4名、養蜂協会：23名 合計50名

\*第1回 公衆衛生部会学術セミナー

日 時：平成27年11月14日

会 場：アイリス愛知 コスモス3

演 題：小笠原諸島におけるノネコ問題について

講 師：小松 泰史 先生 (新ゆりがおか動物病院院長、東京都獣医師会副会長)

参加人数：会員34名、非会員6名 合計40名

\*第2回 公衆衛生部会研修会

日 時：平成28年2月2日

会 場：愛知県自治研修所 大会議室

演 題：北海道におけるエゾジカ対策と有効活用

講 師：木内 武雄 主査 (北海道環境生活部環境局エゾジカ対策課有効活用グループ)

参加人数：会員25名、非会員26名 合計51名

\*平成27年度 第54回学術研究発表会及び特別講演

【学術研究発表会】

日 時：平成28年3月6日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10階1006号室及び1007号室

発表演題数：16題 (畜産：5題、臨床：8題、公衆衛生：3題)

【特別講演】(産業動物、公衆衛生の部)

演 題：獣医法医学的研究による地域連携について：動物の遺体は語る！

講 師：岐阜大学 応用生物科学部共同獣医学科 獣医病理学研究室 柳井 徳磨 教授

【特別講演】(小動物の部)

演 題：臨床に役立つ細胞診の初歩

講 師：岐阜大学 応用生物科学部共同獣医学科 獣医病理学研究室 酒井 洋樹 准教授

参加人数：会員 52 名、非会員 3 名 合計 55 名

(2) 学会発表推進事業

(公社) 日本獣医師会等が開催する学会で研修発表を行う獣医師に対し、参加登録料・旅費の助成と共同研究者等に参加登録料の助成を行い、愛知県内において獣医療の先端を担う人材育成を図る事業。

<27 年度 実績>

\* 獣医学術中部地区学会発表者 7 名

公3 狂犬病を始めとする人と動物の共通感染症を予防するために、狂犬病の予防注射推進及び人と動物の共通感染症について正しい知識の普及啓発を行う事業

(1) 狂犬病予防注射推進事業

名古屋市を除く県下の全市町村長に呼びかけ、狂犬病予防推進事業として狂犬病予防注射済票交付手数料及び犬の鑑札交付手数料の徴収事務並びに交付事務を受託し、会員病院において狂犬病予防注射に付帯する注射済票及び鑑札の交付を代行することで、飼い主の負担軽減及び予防接種機会の拡大により、予防注射接種率の向上を図る。また、毎年 4 月から 6 月を狂犬病予防注射月間として活動しており TV 広報及びポスターを本会会員の施設に掲示している。

<27 年度 実績>

(注射済票・鑑札交付事業)

注射済票交付枚数：90,950 枚 鑑札交付枚数：6,179 枚

(広告宣伝事業)

TV スポットの実績：3 月 25 日～4 月 20 日に(株)電通中部支社を通してメーテレにて延べ 26 回実施した。

(2) 共通感染症講演会開催事業

人と動物の共通感染症についての講演会を開催し、人と動物の共通感染症に対する正しい知識の普及啓発、特に狂犬病についての危険性の周知を行うことにより狂犬病予防を推進する。

<27 年度 実績>

日 時：平成 28 年 2 月 7 日

会 場：名古屋市獣医師会館大講義室

演 題：ペットと接触してうつる感染症

講 師：千葉県開業 むらた動物病院 村田 佳輝 先生

参加人数：会員 48 名、医師会：5、非会員 42 名 合計 95 名

(3) 身体障害者補助犬予防注射助成事業

身体障害者補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬等）利用者に対し、狂犬病予防注射料金を本会で負担し支援。

<27 年度 実績>

\* 助成実施頭数 11 頭

公4 学校飼育動物に関する保健衛生の向上並びに動物愛護思想、動物福祉の増進及び野生動物保護等の普及啓発を行う事業

(1) 動物愛護事業（県民公開講座）

家庭飼育動物の犬、猫、鳥等の習性、適正な飼育管理、愛護・保護精神の高揚、犬のしつけ等について公開講座を開催し、広く県民に普及啓発する。

<27 年度 実績>

\* 学校動物飼育支援委員会（教員向け学校飼育動物セミナー）

日 時：平成 27 年 8 月 10 日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階 1101号室

講演内容

第1部：学校指導要領の改訂と動物飼育

講 師：田村 学 先生（文部科学省視学官）

第2部：「飼育活動における教育的効果」① 不登校傾向児童と飼育活動 ② 総合的な学習と飼育活動

講 師：小笠原 扶久美 教諭（田原市立福江小学校教務主任）小久保 由美 教諭（田原市立福江小学校）

参加人数：獣医師 19名（会員 15名、非会員 4名）一般 3名、教育関係者 65名 合計 87名

\*学校動物飼育支援委員会（獣医師向けセミナー）

日 時：平成 27年 11月 8日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階 1104号室

演 題：「うさぎの臨床 ～これだけは知っておこう～」

講 師：三輪 恭嗣 先生（みわエキゾチック動物病院、東京大学附属動物医療センター）

参加人数：会員 56名、非会員 26名、合計 82名

\*動物愛護・共生委員会（講演会）

日 時：平成 28年 2月 11日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階 1202号室

演 題：The 猫学 ～猫専門獣医師からみた猫の真実～

講 師：南部 美香 先生（獣医師・キャットホスピタル）

参加人数：会員 22名、非会員 72名、合計 94名

## (2) 動物愛護事業（動物慰霊祭）

動物園で死亡した動物、戦時中に死亡・殺処分された動物及び動物保護管理センターで殺処分された犬猫を慰霊することにより広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<27年度 実績>

\*9月 18日 愛知県動物保護管理センター 動物慰霊祭

\*9月 20日 動物愛護フェスティバル in とよた

\*9月 23日 東山動物園慰霊祭

\*11月 5日 本会慰霊祭

## (3) 動物愛護事業（動物愛護図画コンクールの表彰）

県内の児童に動物愛護に関する図画を募集し、動物に関する図画の作成を通じて動物愛護への関心を高め、動物愛護精神の普及啓発を図る。

<27年度 実績>

\*日本獣医師会会長賞 1作品、愛知県獣医師会会長賞 1作品

## (4) 動物愛護事業（長寿犬表彰）

長寿犬の表彰をすることにより、適正な飼養管理・終生飼養に対する意識を高め、広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<27年度 実績>

長寿犬表彰頭数 16頭

## (5) 学校動物飼育支援事業（ふれあい教室）

公立小、幼稚園等の飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように学校、児童、PTA等を対象にふれあい教室を開催する。

<27年度 実績>

\*ふれあい教室 86校（延べ 101回・参加獣医師数 延べ 375名）

\*飼育相談対応 18校・33回

(6) 野生傷病鳥獣保護事業

野生鳥獣保護法に基づき、愛知県知事から受託し、県内に野生鳥獣保護指導獣医師を設置し、野外で負傷、疾病し発見された野生の鳥獣及び哺乳類の保護指導をすることにより、県民に鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

<27年度 実績>

\*実施登録獣医師数：83名

\*保護指導数（鳥類：44種・197羽、獣類：3種・3頭）

\*関連セミナー（県民公開講座）

日 時：平成27年8月9日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 5階小ホール

演 題：「イマドキの野生動物」アニマルアイズ 動物の目から見た環境問題

講 師：宮崎 学氏（自然界の報道写真家）

参加人数：会員15名、一般193名 合計208名

他1 会員に対する相互扶助等事業

(1) 互助・福祉厚生事業

(ア) 機関誌「紫苑」を毎月10日に12回発行。

(イ) 同好会への助成実績

- ・自転車同好会（チャリベッツ）への助成。
- ・10月12日開催 統計研究会補習セミナーへの助成。
- ・11月1日開催 第6回ゴルフコンペへの助成。
- ・11月3日開催 第2回つり大会への助成
- ・ソフトボール同好会 傷害保険及び対外試合（年1回開催）への助成。

(ウ) 獣医師総合生命福祉共済保険「狂犬病予防注射事業賠償保険」を契約。

- ・平成27年度の契約人数は478名。

(エ) 顧問弁護士契約を継続。

(オ) 所得補償保険及びがん保険の団体契約の継続。

(2) 会員の表彰

- ・中部獣医師会連合会会長表彰に13名推薦。

(3) 会員の弔慰

- ・会員、配偶者、両親及びご子息の死亡に給付をした。
- ・出産祝、病氣見舞及び災害見舞の給付をした。

(4) 獣医療証明様式等頒布事業

- ・獣医師法、獣医療法、薬事法等で診療等の際に交付が義務付けられている証明書等の様式について、(公社)日本獣医師会が作成したものを、診療獣医師の注文に対し、本会獣医師会を通じて有償で頒布。

<27年度 頒布実績>

証明書A：1,032冊・証明書B：80冊・動物医薬品指示書：291冊・出荷制限期間指示書：0冊

狂注済証：263冊・狂注猶予証：23冊

(5) 獣医師の倫理向上に関する事業

\*臨床部会「綱紀・獣医事委員会」を7回開催し、獣医療過誤申出について検討した。

(開催日：5/21・6/25・8/27・10/29・12/17・1/28・3/17)

\*臨床部会「新入会員研修会」を開催。

日 時：平成28年2月21日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1205号室

演 題：(1)獣医師会概要、(2)獣医療トラブルを回避するために、(3)コミュニケーションスキル

講 師：綱紀・獣医事委員及び北川 均先生（岐阜大学）

参加人数：臨床部会新入会員：9名（開業会員：6名・勤務会員：3名）

(6) 獣医師の処遇改善に関する事業

- ・公務員獣医師の処遇改善等について

# 平成 27 年度事業報告附属明細書

(自：平成 27 年 4 月 1 日 至：平成 28 年 3 月 31 日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）  
該当事項はない。

管理部門

1. 会員の状況

区分	平成26年度末 会員数	平成27年度中の異動			平成27年度末 会員数
		入会者数	退会者数	増減	
会員数	955	26	38	△ 12	943

(なお、権利停止1名は含む。賛助会員3団体は含まない。)

<会員数の内訳>

部会名	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会
部会別会員数	255名	468名	220名

2. 会費未納入状況

(1) 平成27年度 部会別会費未納者状況 (平成28年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	3名	38,000円
臨床部会	9名	448,000円
公衆衛生部会	2名	32,000円
合計	14名	518,000円

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
75,000円	0名	5名	0名	5名	375,000円
25,000円	0名	1名	0名	1名	25,000円
16,000円	2名	3名	2名	7名	112,000円
6,000円	1名	0名	0名	1名	6,000円

(2) 平成26年度 部会別会費未納者状況 (平成27年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	2名	22,000円
臨床部会	6名	273,000円
公衆衛生部会	3名	48,000円
合計	11名	343,000円

但し、会員権停止2名(臨床部会・勤務会員)を含む

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
75,000円	0名	3名	0名	3名	225,000円
50,000円	0名	0名	0名	0名	0円
16,000円	1名	3名	3名	7名	112,000円
6,000円	1名	0名	0名	1名	6,000円

(3) 平成27年度臨床部会費未納者数：2名(75,000円 内、1名は2年間未納)